

五能線の取り組み学べ

不通のJR只見線全線復旧へ福島県知事ら

深浦

観光名所・施設など視察

福島県の内堀雅雄知事ら視察団が29日、JR五能線に関する取り組みを学ぼうと、深浦町の十二湖駅や「絶景ブルー」で知られる青池など周辺の観光名所・施設を訪れた。2011年7月の新潟・福島豪雨の影響で一部区間が長期にわたって不通となっている、同県会津地方のJR只見線の全線復旧に向け、「乗ってみたいローカル線ナンバーワン」として知られる五能線に関して学ぶ狙い。内堀知事は「五能線を参考に、只見線沿線活性化に取り組みたい」と語った。(下山高秋)



遊歩道を散策し青池に向かう内堀知事(前列左)ら

福島県や只見線沿線自治体などで組織する「只見線活用プロジェクトチーム」は全線復旧に向けた只見線活用計画を策定している。その中で五能線の取り組みを参考に、「海の五能線」と並ぶ「山の只見線」として国内外で注目される路線を目指し、「目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト」に取り組む考え。

今回の視察団は内堀知事と只見線沿線自治体首長、JR関係者ら15人。午前10時半ごろ、リゾートしらかみで十二湖駅に降り立ち、深浦町の菊池雄司副町長や町職員らの盛大な歓迎を受けた。この後、十二湖方面へバスで移動し、遊歩道が

整備されたフナ自然林や青池を視察。昼食は麓のレストランで「深浦マグロステーキ丼」を味わった。

取材に対し内堀知事は「五能線に乗り、美わすかでここ(青池など)に来ることができて、沿線の景色を楽しむ、きめ細かいもてなした、地域活性化に関する試みの参考になる」と話した。

県のクールチョイス応援大使

3ス。ポーツチーム任命

県は29日、温室効果ガス削減に向けた新たな県民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」をおもりの応援大使に県内のスポーツチームを任命した。各チームのホームゲーム会場でPRイベントを開催するなど、協力して運動推進に取り組む。

クールチョイスは「賢い選択」の意味で、省エネ家電やエコカーの購入など温室効果ガス削減に向けた選択を行う運動。本県では国の取り組みに呼応し、4月に採択した。

応援大使に任命されたのはサッカーJFL C、ヴァンラーレ八戸



応援大使任命式

クールチョイスあおもり応援大使の任命式に出席した(左から)中原選手、門馬選手、三村知事、須藤選手

児童ら真剣問題に挑む



要求 「記録的大雪情報」